



世田谷・生活者
ネットワーク
公式サイト▶



田中みち子の
活動はここで
チェック!▼



たなか・みちこ 田中みち子 REPORT

生活者ネットワークは市民と議会・行政をつなぐパイプ役として、地方議会に議員を送りだしています。



世田谷・生活者
ネットワーク

豪雨による洪水や猛暑の夏が到来するたびに実感する気候危機。地球上で頻発している干ばつ・森林火災・水害は深刻さを増しており、対策は待ったなしです。さらにはウクライナ危機により、農産物の生産が不安定になり、品不足や価格高騰も多発、世界規模で食糧供給に赤信号が灯りつつあります。SDGsの13番目の目標「気候変動に具体的対策を」では、温室効果ガス排出を抑制する努力が求められ、日本は、化石燃料を燃やす発電やゴミ焼却、自動車の排気ガスなど、解決すべき課題と指摘されています。政府は、脱炭素社会をめざして「2050年までに温室効果ガス実質ゼロ」を宣言しましたが、具体的な取り組み方針は見えま

地球温暖化から
暮らしをまもる！
世田谷「気候非常事態宣言」

せん。「発電時にCO₂を出さない」として原発を電源構成の中に位置づけるのは本末転倒です。「化石燃料も原発も使わない持続可能な再生エネ・省エネの拡大による気候エネルギー政策」を国に求めていきます。

世田谷区は「気候非常事態宣言」をし、企業や市民も一体となってCO₂削減に取り組みめるよう具体策を進めています。異常気象がもたらす大型台風や局地的豪雨を防ぐことはできなくても、被害を最小限にする努力は不可欠です。グリーンインフラの活用や生活に根付いた省エネ・再生エネ政策を市民の皆さまとともに考え、「水と緑の潤いのある世田谷」を次世代につないでいきます。

田中みち子 (たなか みちこ) Profile

- 1966年 栃木県生まれ
- 1985年 作新学院高等部英進科卒業
- 1989年 武蔵野女子大学文学部卒業、栃木県内にて教鞭をとる
- 1990-96年 リクルートグループにて営業に従事、年間MVP賞等多数受賞
- 2009年- NPO法人アビリティクラブたすけあい(ACT)にて居場所支援活動
- 2013年- パーソナルカラーとハーブのサロンオープン、アフリカ支援のNGO活動、乳児院ボランティアなど
- 2015年 生活クラブ生協加入 世田谷区議会議員初当選
- 2019年 世田谷区議会議員2期目、文教常任委員会、スポーツ・交流推進等特別委員会
- 趣味: 講談・ピアノ・ウクレレ・愛犬と散歩 ●砦在住
- 資格: 中学校・高等学校教諭、衛生管理者、パーソナルカラーリスト、ヘルパー2級



まちのバリアチェック!



まちを歩くと知らないことが見えてくる



世田谷・生活者ネットワークは、だれもが外出しやすいい街をめざして、「バリアチェック」で街に飛び出すアクションを行いました。

ウルトラマン商店街

祖師ヶ谷大蔵駅から南北に伸びている商店街は、「ウルトラマン商店街」の愛称で知られています。昼間の時間帯は、買い物客や駅に向かう人たちでも賑やか、地域のバリアを調べるために車椅子で出かけてみました。

外出する時に、気になるのがトイレの場所。駅やスーパー、レストランに整備されていますが、車椅子でも利用できるトイレとなると限られてきます。事前の情報や、近くの方のちょっとした協力で安心して外出ができるようになる「心のバリアフリー」を広めることが大切です。

車椅子で移動しようとすると、さまざまな段差に気づかされます。一部広がりを見せるシェアスロープなどの周知も進め、車椅子の人が気軽にどこにでも行くことが出来れば、幼い子どもや高齢者・ハンディのある人への配慮があり、やさしさを感じられる街になるのではないのでしょうか?



祖師ヶ谷商店街でバリアチェック

交通量の多い 幹線道路付近

環7若林付近や国道246交差点や横断歩道などで、街ゆく人に何ってました。「全体的に交通費が多く、四方から車がくるので怖い、右折車が危険」「自転車が多いのでヒヤッとする」などの意見が多くありました。

新しく整備された通りは広く、歩道、自転車通行帯などが整っているけれど、交差する通り側は、歩道も車道も狭く自転車のスペースはない、そしてスパーの前は混雑していても危険な箇所となっています。また、青信号の長さは高齢の方にとっては短いようです。

ここでも横断歩道での歩道と車道の段差が気になるという意見を伺いました。自転車でも通りにくい段差では、車いすユーザーにとっては大変です。



▲段差を車いすでチェック
◀貸スロープのあるお店を見学する田中みち子



梅丘周辺で視覚障害当事者の声を聞き取り

梅丘駅周辺、赤堤通り

世田谷区は、福祉のまちづくり、ユニバーサルデザインの街づくりを進めてきました。特に梅丘駅周辺地区は「うめとびあ」もでき、さまざまな障がいをもつ方が利用し訪れる街です。そこで、視覚障がい当事者の方と一緒に、梅丘駅周辺の安全点検を行いました。

駅から「うめとびあ」までのルートには音声式信号などの設備が整備されていますが、そのルートは当事者目線ではありません。駅東南の梅丘通りの交差点には、視覚障がい者支援の設備がありません。しかも変形した交差点で、車の音で方向判断が難しく、横断が難しい場所です。

変形した交差点で横断角度がずれると車道中央に迷い出してしまう危険がある場所にこそ、横断歩道内にエスコートゾーンをつけるべきだということが分かりました。

梅丘地域をモデル地域として、障がい当事者の声を丁寧に聞き、誰もが歩きやすい街へと改善していく必要があります。

カンパをお願いします

生活者ネットワークの活動は、カンパとボランティアで支えられています。カンパは1口1,000円から、いくらでも、いつでもOKです。

【ゆうちょ銀行】
世田谷・生活者ネットワーク
記号)00110-1-765709
店名)019 普)0765709

暮らしの中での
困りごとなど、
お気軽にご相談ください。



政策委員
関口江利子



世田谷区議会議員
金井えり子



世田谷区議会議員
田中みち子



世田谷区議会議員
高岡じゅん子



元都議会議員
西崎光子

☎03-3420-0737
世田谷・生活者ネットワークHPからもお問い合わせいただけます。

3 世田谷生活者ネットワークのルール

1 議員は交代制(ローテーション)

2 議員報酬は市民の政治活動資金に

3 選挙はカンパとボランティアで